

概要

農産園芸研究課は、「農産物の栽培研究・作業機械に関する分野」の研究に取組み、課内に“作物”“野菜・花き”“スマート農業”“果樹”の4つの担当を設けています。生産現場に即し、市場のニーズに対応した新しい栽培技術の開発や、新品種の育成に取り組んでいます。

作物担当

- 水稲、麦、大豆、藍の栽培に関する研究
- 水稲、藍の新品種育成

野菜・花き担当

- 野菜、山菜、薬草、花き類の栽培に関する研究
- 野菜・花き類の新品種育成

スマート農業担当

- IoT、AIを活用した農業技術の開発
- 農業機械、作業技術に関する研究

果樹担当

- (常緑、落葉)果樹栽培に関する研究
- (常緑、落葉)果樹の新品種育成

研究課題

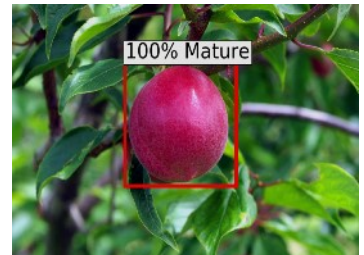
- 農業の生産・流通システムを革新し、大幅なコスト削減を実現する技術
 - ・ 青果用かんしょの省力機械移植栽培体系の確立
 - ・ ナシ、ユズ、ミカン、スダチ等の輸出のための品質保持技術の確立
- 農山漁村に新たな産業や雇用を生み出す研究
 - ・ 「藍」の需要拡大に向けた新技術の開発
 - ・ 阿波すず香栽培技術の確立
 - ・ 薬用作物の国内生産拡大に向けた技術の開発
- 農林水産物の単収・品質向上を促進し「強み」をさらに引き出す技術
 - ・ 「とくしま米」ブランドの創出による水田農業の活性化
 - ・ 水稲、藍、サツマイモ、レンコン、イチゴ、スダチ、ナシ等の新品種の育成
 - ・ 温暖化に伴うトロピカルフルーツ低コスト栽培技術の開発
- 農業のスマート化を推進する技術
 - ・ 施設園芸（イチゴ・トマト・ニンジン）における環境制御技術の高度化
 - ・ AI（深層学習）の導入による果樹生育診断技術の開発



水稲奨励品種決定調査



藍収穫機



AIによる果樹生育診断



レンコン新品種 阿波白秀